

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

K o h a r u b i y o r i
VOL. 56

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



「働き方改革」がつくる当院の「安全安心」



- Index**
- P1-2 働き方改革推進本部、始動！
「働き方改革」がつくる当院の「安全安心」
 - P3 診療科紹介 小児外科
～お子さんに負担の少ない、美容的にも優れた治療を～
 - P4 ドクターズカルテ、研修医紹介
 - P5 当院のワンポイント改善事例
転入・転出医師 (2022.6.1 ～ 2022.8.31)
 - P6-7 愛媛県立中央病院のご紹介
 - P8 連携医療機関紹介 ～第 27 回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2022年8月31日発行



愛媛県立中央病院





働き方改革推進本部、始動！

この4月から当院に「働き方改革推進本部」が設置されました。
何をする部署なのか、ご紹介いたします。

日本は人口あたりの医師数が先進国の中でも最低水準ですが、平均寿命は世界1位です。つまり、医師が長時間労働をすることで、日本の医療を支えてきたといえます。しかし、それは医師の過労死など深刻な健康被害を招きました。

これに対して2024年4月から法律で、医師の時間外労働時間が規制されます。年間の時間外労働を960時間以内に抑えるというものです。1か月に換算すると80時間となり、いわゆる「過労死ライン」以内に総労働時間を収める必要があります。働き方改革推進本部は、その達成に向けて調査・立案し、提言を行っています。

働き方改革コアメンバーが議論中！



▲左から、椿医師、玉木医師、中瀬医師

「働き方改革」がつくる当院の「安全安心」

誰でも休みなしに働き続けると心身の疲労がたまります。これは医師も同じで、長時間労働は医師の健康にとって悪だけでなく、医療安全を脅かす大きなリスクになるのです。ですから医師も適切に休養を取らなくてはなりません。

しかし、医師の今までの働き方を変えるのは簡単ではありません。それには、まず医師自身の意識改革が必要ですが、それと同時に患者さんとそのご家族のご理解が不可欠なのです。

当院では、「複数担当医制」と「診療時間内の病状説明」の取り組みを進めています。1人の患者さんを複数の医師が担当することで、医師が休日に休みやすくなります。また、病状説明を診療時間内に行うことで、医師の時間外勤務を減らすことができます。あわせて、病状の落ち着いた患者さんについては、地域のかかりつけ医への受診をおすすめしています。そうすることで患者さんは適切な医療を受けられ、当院はその責務である高度急性期医療に注力することができ、当院ひいては地域全体の「安全安心」につなげることができるのです。

当院をご利用の皆様へ

複数 担当医制

患者さん1人に対して2人以上の医師で診断や治療を行う「複数担当医制」を推進しています。

→医師が休みやすい環境に！

POINT

複数の医師が患者さんの情報を共有するので、安全で質の高い診療が可能に！

診療時間内の 病状説明

病状説明は原則として平日の診療時間内に行います。
(平日8:30~17:15) ※緊急時はこの限りではありません。

→医師の時間外勤務が減少します！

POINT

看護師も説明に同席しやすいため、患者さんの安心に繋がります！

ご協力をお願いします。



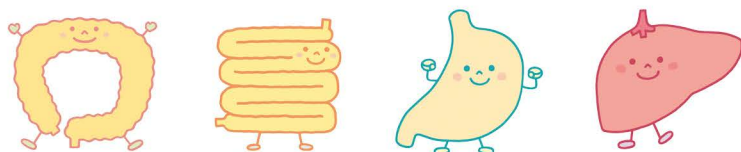
質の高い持続可能な医療を提供するため、これらの取り組みについて、ぜひ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

診療科紹介 小児外科



小児外科は、新生児から中学生までの小児を対象とし、主に胸腹部疾患を中心とした手術が必要な疾患の診療を行っています。具体的には、体表の良性腫瘍、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、臍ヘルニア、停留睾丸、虫垂炎、便秘症などの一般的な疾患から、新生児外科疾患、小児悪性固形腫瘍、ヒルシュスプルング病などの消化管疾患、胆道拡張症や胆道閉鎖症などの肝胆道系疾患などの重症疾患まで幅広く治療しています。

小児のおなか周りを中心とした、
軽重さまざまな症状を診ることができます！



小児外科医は「お子さんを安心して預けることができる外科医」です。当科の医師3名は、それぞれが小児外科指導医、小児外科専門医、外科専門医の資格を有しており、当科は愛媛県唯一の日本小児外科学会教育関連施設Aとなっております。



でべそ



お子さんに負担の少ない、美容的にも優れた治療を

臍ヘルニア（いわゆる「でべそ」）は2歳までに90%が自然に治るといわれていますが、20年ほど前から膨れている臍を押さえてテープで固定することで早く治る可能性があること、治った後の臍の形が皮膚のたるみがなく自然であることがわかってきました。そのため早期からの圧迫療法を勧めています。

また当科は、創が目立たない腹腔鏡下手術に力を入れています。もっとも患者さんが多い鼠径ヘルニアは全例腹腔鏡下に行っていますが、術後の傷はほとんど目立たず手術したとわからないほどです。虫垂炎（いわゆる盲腸）の手術でもほぼ全例で腹腔鏡下に行っており創を小さくするよう努めています。

ドクターズカルテ

ペインクリニック内科 武田 泰子医師

Doctor

ペインクリニック内科の武田泰子です。県外出身ですが、愛媛県に来て10年以上が経ち、住みやすさと人の温かさによってすっかり馴染んでいます。現在は週2回の外来診療を担当し、腰痛や帯状疱疹、三叉神経痛など様々な痛みのある患者さんに、主に神経ブロックや薬での治療を行っています。そのほかの日は主に手術麻酔に従事しています。

プライベートでは、高校時代から宝塚歌劇を観るのが好きで、親に頼み込み医学部受験と並行して宝塚音楽学校を記念受験したことは若気の至りです(笑)。今はテレビ鑑賞が主ですが、チケットが手に入ったときは娘を巻き込み劇場に足を運ぶこともあります。生の舞台は華やかで、日常の忙しさから少しだけ解放され、リフレッシュできています。



▲久しぶりに舞台鑑賞に行きました



▲外来スタッフと(本人 左端)

当院の研修医を紹介します

1 年次研修医 やまもと ゆうじろう 山本 勇次郎医師

Resident

仕事以外の過ごし方を教えてください。

週末は実家に帰って、飼い犬と散歩に行ったりとのんびり過ごしています。今年から1人暮らしを始めて、一緒にいられる時間が減ってしまったので、休みの日はなるべく実家に帰るようにしています。大切な癒やしの時間です。

日頃気を付けていることは何ですか？

体調を整えることは、常に気を付けています。運動習慣、ご飯をしっかり食べること、寝ることを大切にしています。仕事ですべてが十分にできていないこともあります。疲れをため込まないように、休日にのんびり過ごすことを大切にしています。

今後の目標は何ですか？

研修医生活は始まったばかりで、一人前には程遠い現状ですが、少しずつでもできることを増やしていけるように成長したいと思っています。



▲外科結紮・縫合評価会の様子



飼い犬と近所の公園で散歩中▶

当院のワンポイント改善事例



皆さんは、病院を訪れたとき、こうだったらいいのに…と思ったことはありませんか？
当院では、提供する医療の質を高めるため、こうした疑問や問題を解決する「ワンポイント改善」を院内で情報共有しています。
今回は、中でも皆さんに身近なあの問題をピックアップしてご紹介します！

杖置き場に困ったこと、ありませんか？



トイレを利用したときなどで、
足元に落ちた杖や遠くにある杖を
取ろうとすると、
体勢を崩しやすく**キケン！**



これからも当院では、
患者さんのためにちょっとしたことから
「カイゼン」を行っていきます！

カイゼン ポイント

1



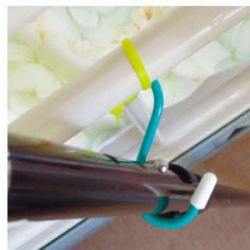
杖を置く場所を決める！ アイテムを使って、
杖が倒れないように**工夫！**



もうワンステップ

カイゼン ポイント

2



自宅でも
使えるよう
工夫！

家にある洗濯バサミや
S字フックで代用可能！
家での生活も**安心！**

当院の病棟や杖を手放すことの多い検査室などで導入しています！



転入・転出医師 (2022.6.1～2022.8.31)

▶ 転入

所属	氏名	専門
産婦人科	横畑 理美	産婦人科一般
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	宮地 祥多	耳鼻咽喉科一般
血液内科	肥山 隆一郎	専攻医

▶ 転出

所属	氏名
脳神経外科	福本 真也
耳鼻咽喉科	高木 亮太

愛媛県立中央病院 のご紹介

※2021 年度 1 年間の集計

医師・歯科医師数



278 人

(正規・臨時・パート・嘱託職員を含む)
※2022 年 4 月 1 日現在

看護師数



789 人

(正規職員のみ)
※2022 年 4 月 1 日現在

専門・認定看護師数

26 人

※2022 年 4 月 1 日現在

病床数



827 床

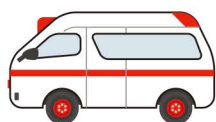
※許可病床数

救急受診者数

5,487 人

※3次救急 等

救急車での搬送件数



3,356 件

※3次救急 等

入院延患者数

178,328 人

新入院患者数

15,707 人

1 日平均患者数

43.0 人

外来延患者数

332,000 人

1 日平均患者数

1,371.9 人

紹介患者数 (初診のみ)

14,722 人

紹介率

74.2 %

逆紹介率

123.0 %

平均在院日数

10.7 日

ドクターヘリ出動件数

299 件



年間手術件数

6,923 件

※手術室実施・算定分

外来化学療法年間実施件数

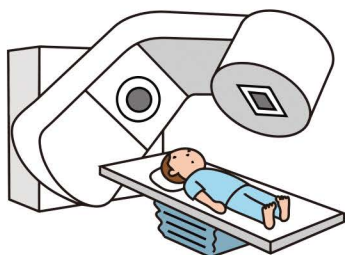
8,938件

PET-CT 検査件数

2,699件

放射線治療件数

10,266件



ロボット支援手術件数

295件

※実施件数



手術支援ロボット

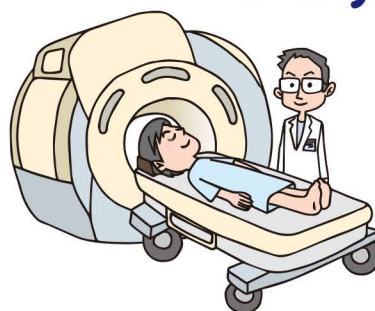
分娩数



906件

MRI 検査件数

11,001件



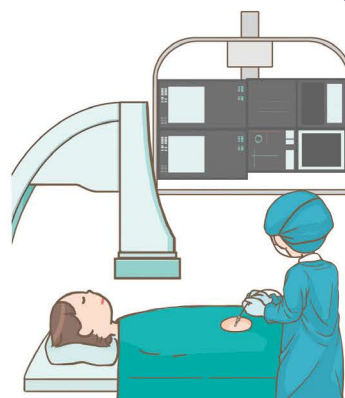
内視鏡検査件数

9,358件



血管・心臓カテーテル検査総件数

2,084件



リハビリテーション実施患者数

3,153人

連携医療機関紹介 ～第27回～

みやわきこどもクリニック

- 所在地 松山市錦町6-7 TREEビル2F
- TEL 089-934-9100 ■FAX 089-934-9101
- 診療科目 小児科
- 外来診療時間 休診日 火曜

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	×	○	○	○	○	○	○
14:30～20:00	○	×	○	○	○	○	○	○

※月・水～土 14:30～16:00 乳幼児健診・予防接種 ※日・祝 14:30～ 一般診療のみ

【病院の概要】2021年9月に新規開院いたしました。松山商業高校の近く松山市の中心街に位置し、駐車場は14台設けています。全日20時まで診療。24時間ネット予約可能。

【病院の特徴】核家族化や共働きといった現代のニーズに合わせ、土・日・祝日も20時まで診療を行っております。仕事帰りや、休みの日でもお子さまの急な病気にも対応できる、頼れるかかりつけ医を目指します。院長(執筆者)自身も3人の子育て中です。自分自身の経験も踏まえながら、病気の治療はもちろん、子育てに悩む親御さんの相談にも応え、お子さまが健やかに育っていきける環境づくりもサポートしていけたらと考えております。子育てには悩みや不安はつきものです。どんなことでもお気軽にご相談ください。



医療法人ヒューマンリプロダクション

つばきウイメンズクリニック

- 所在地 松山市北土居5丁目11番7号
- TEL 089-905-1122 ■FAX 089-905-1102
- 診療科目 産婦人科・新生児内科・麻酔科 ■病床数 19床
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
15:00～18:00	○	○	×	○	○	△ 17時まで	×

※男性不妊外来 月1回・完全予約制 土曜 15:00～17:00 日曜 9:00～11:00

【病院の概要】2015年10月に松山市北土居で開院し、現在のスタッフは、医師、看護師、助産師、胚培養士、臨床検査技師、メディカルアシスタント、受付事務、総務の各職種を合わせて約100名の組織になっております。患者さん用駐車場は、84台あります。

【病院の特徴】一般産婦人科診療だけでなく、不妊治療、無痛分娩、ウイメンズヘルスケアを中心とした診療を行っています。また、月1回、専門の泌尿器科医による「男性不妊外来」も行っております。皆様の「かかりつけの産婦人科」としてお気軽にご来院いただけるようなクリニックづくりを目指しております。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

